

桔南小だより

令和6年4月17日 第2号

名張市立桔梗が丘南小学校

新しい学年、学年が変わっても大切なこと

4月8日に令和6年度のスタートをきって2週目に入りました。転入生の紹介、着任式を終え、始業式では、学校の目標について話を聞き、新しい教室に入りました。



教室で担任の先生と話をしたり、新しい教科書を配ってもらったりして、2年生から5年生は下校をしました。

10時半からの入学式には在校生を代表して6年生のみなさんが参加し、在校生を代表して「おめでとう」と言葉をかけました。1年生は23名。担任の先生から名前を呼ばれて

「はいっ!」と返事をしました。

広い体育館への入場・退場には6年生のエスコートがあり、緊張しながらも安心している表情がありました。6年生のみなさんも緊張の表情。しっかりリードをする姿に頼もしさを感じました。学校のリーダー達の活躍が輝いています。

6年生は、1年生の給食当番をしています。4/16の献立は、「元気100倍チャーハン、キャベツのスープ、牛乳」で



した。配膳をしている6年生は、「量はこれぐらいかな」などと気を配っていました。手際よく配膳をする6年生に向けて、「ありがとうございました」とお礼を言い、「いいにおい。おいしそう!」などの歓声を上げて、「いただきます」と食べ始めました。「おいしい!」大人気のチャーハンでした。昼休みは、たくさんの子どもたちが外で元気に遊びました。先生と一緒ににおにごっこをしたり、バスケットゴールを使ってバスケットをしたり、サッカーをしたり、



遊具で遊んだり、それぞれが楽しんでいました。休み時間に委員会の仕事をする5、6年生もいました。終了5分前には「5分前行動」。遊びを終えて教室に戻る姿が見られました。時計を見て行動する様子が素晴らしい、新しい学年になっても時間を守る姿がありました。19日は授業参観。子どもたちの新学年になつての姿を観ていただきたいです。



本年度の教科指導について

時間割も決まり、新学年の学習が本格的に始まりました。本年度は、下記のように少人数指導と教科担任を取り入れ、子どもの学習状況に応じたきめ細かな指導を行うと同時に、授業の質の向上、多面的な子ども理解を目指します。そして、子どもたちの「わかった、できた」を多く支援していきたいと考えています（時間数は週当たりの時間です）。

<少人数指導>

学級の人数は変えずに、理解・習熟の個人差が生じやすい教科を教員2名で指導したり、グループに分けて指導したりします

○4年生国語（5時間）、5年生国語（4時間）、6年生国語（4時間）

担任1名に1名の教員を加え、2名で授業を行うチーム・ティーチング（以下 T.T）を行います。書写は1名の教員で指導をします。

○5年生算数（5時間）

子どもの習熟の程度に応じてクラスを分け、担任と1名の教員それぞれが授業を行います。単元によってコースを変えたり、言語活動が中心の時には T.T を行ったりします。

今年度は、①1問1問じっくり行う「フランス料理コース」、②どうしたら速く正確に解けるのか情報の取捨選択を行う「食べ放題コース」、の2コースで取り組みます。

（フランス料理は1品ずつ提供され、それをじっくり味わうイメージ、食べ放題は各々が食べるものを選ぶイメージを元に、算数の課題解決の方法のイメージと重ねてコースの名前を考えました。）

<教科担任制>

○学級担任間の授業交換を行います。

5年生…A組担任が算数、B組担任が外国語・社会を担当します。

6年生…A組担任が算数、B組担任が外国語・社会を担当します。

○専科や担任外の教員が教科を担当します。

6年生…理科、家庭、音楽

5年生…理科、家庭

4年生…音楽、図工、書写

3年生…音楽、図工、書写

2年生…書写

<小中一貫教育に向けて>

○桔梗が丘中英語担当教員による5、6年生外国語への一部乗り入れ授業（T.T指導）

○6年生…桔梗が丘中英語担当教員による「TEA TIME」（2週間に1時間程度）

（Take English in Advance＝英語を先取りする）

<短時間学習（モジュール学習）の時間等>

学習指導要領改定（2020年～）で増加した授業時数を短時間学習（モジュール）として行うことにより、生み出しています。今年度からは、その内容を国語「我が国の言語文化に関する事項」（暗唱）だけでなく、算数補充学習の時間としても活用します。

これらの取組を進めるにあたっては、教員同士の共通理解や打ち合わせを大切にして、効果的な指導を進めてまいります。また、少人数指導においては、三重県教育委員会学力向上推進アドバイザーによる指導・助言も取り入れてまいります。

これらの状況は、各学年通信や学校だよりでも随時発信しますので、子どもたちの学びがスムーズに進むよう、家庭学習の充実、生活習慣の定着等ご家庭でのご支援ご協力をお願いいたします。



（文責 阿形）